



## テナントを展開

---

- [テナントを展開 \(1 ページ\)](#)

### テナントを展開

サイト間にアンダーレイとオーバーレイの接続が確立されたら、エンドポイント ネットワーク/VPC/VNet を展開して、オンプレミスとクラウドサイトに展開されたテナント エンドポイント間の通信を確立する必要があります。

NDOは、VRFとネットワークを定義するためにスキーマとテンプレートの概念を使用します。NDFCのコンテキストでは、VRFは、あるテナントを別のテナントから分離するために使用されます。1つのテナントのすべてのエンドポイントネットワーク（サブネット）は、それぞれのVRFにマッピングされます。VRFの同じ概念をクラウドに拡張することもできます。VRFはAWSのVPCおよびAzureのVNetに対応します。

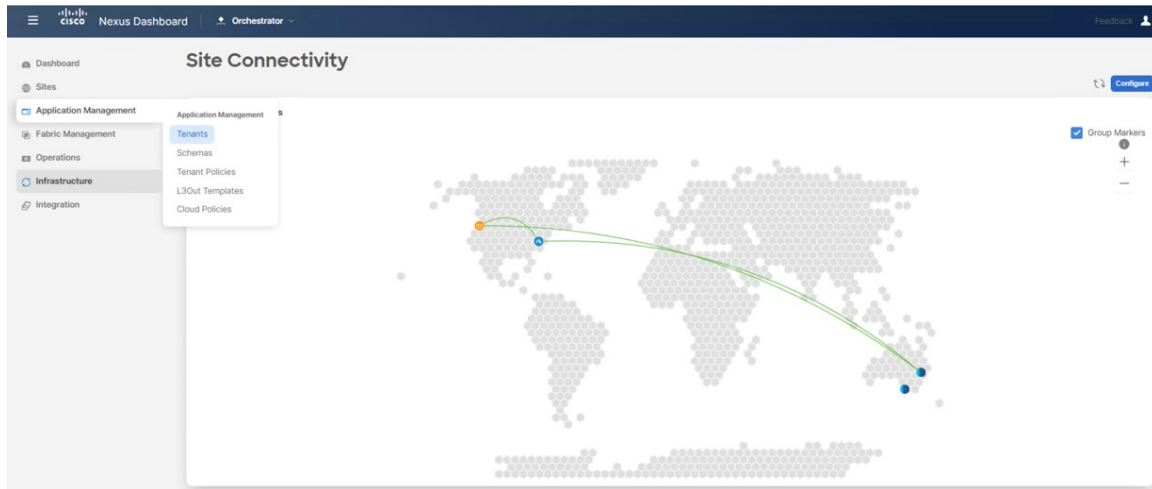
テナントを展開するための次の手順は、前述のすべてのトポロジに適用され、展開された特定のインフラ構成を活用します。また、次のユースケースのいずれにも適用されます。



- 
- (注) NDOには、事前に構築された `dcnm-default-tn` テナントがあり、オンプレミスサイトとクラウドサイトに関連付けることができます。ハイブリッドクラウド接続を展開するときに、この事前構築済みの `dcnm-default-tn` テナントをNDFCおよびクラウドサイトに関連付けることをお勧めしますが、必要に応じて、独自のテナントを最初から作成することもできます。
- 

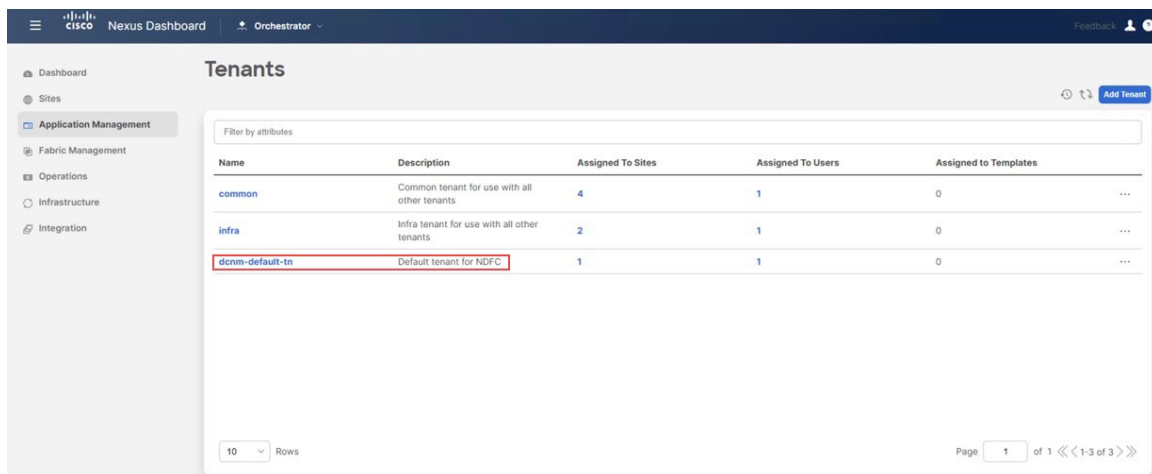
ステップ1 NDOで[アプリケーション管理 (Application Management)] > [テナント (Tenants)]に移動します。

図 1:



テナント ウィンドウが表示されます。

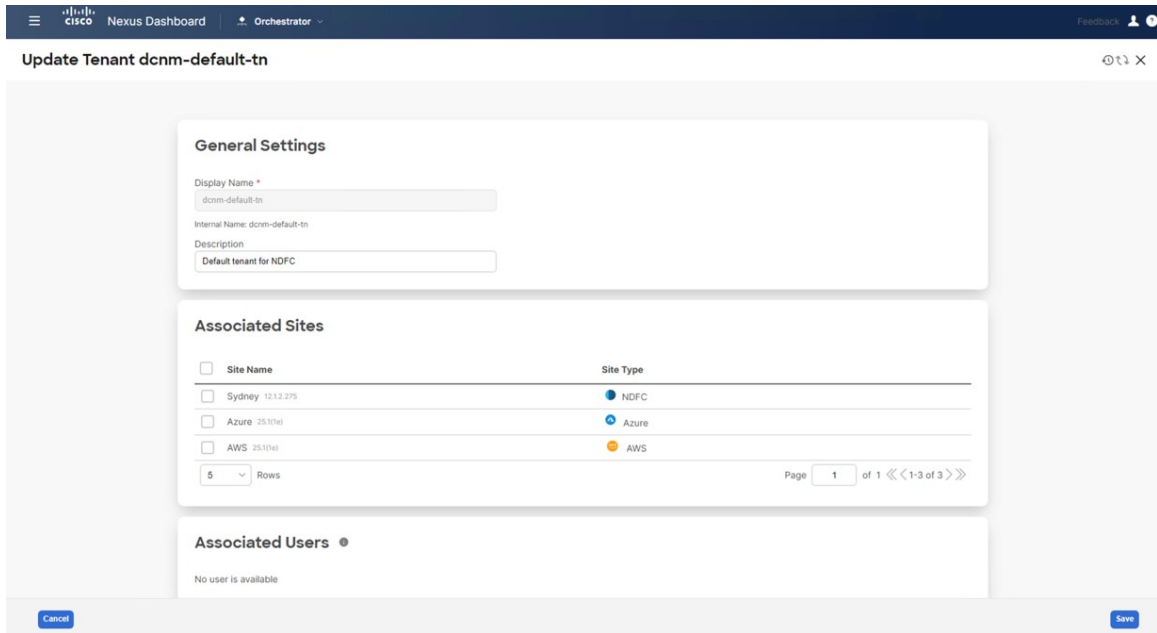
図 2:



**ステップ 2** dcnm-default-tn テナントをクリックします。

dcnm-default-tn テナントの [テナントの更新 (Update Tenant)] ページが表示されます。

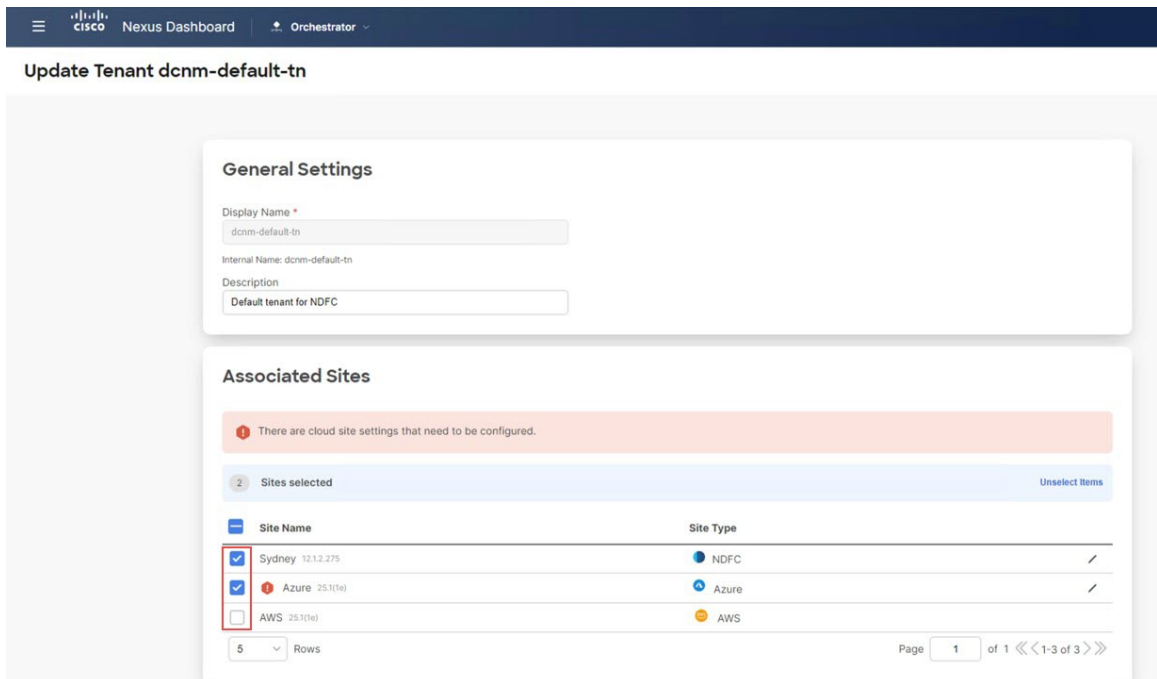
図 3:



**ステップ 3** 画面に表示されているサイトを選択します。

外部ファブリック サイトはリストに表示されないことに注意してください。外部サイトは、オンプレミス サイトとクラウドサイト間の接続を提供するためにのみ使用され、外部ファブリックにはエンドホストがないため、外部ファブリックにテナントを展開する必要はありません。

図 4:

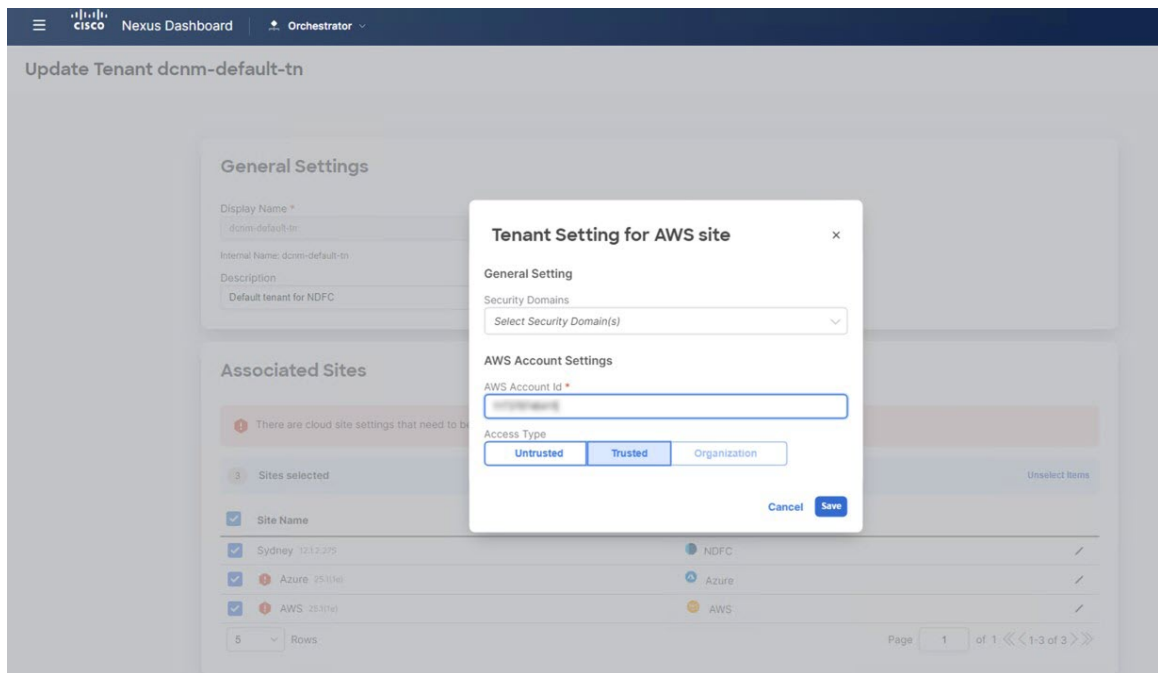


**ステップ 4** クラウドサイトの場合は、編集ボタン (鉛筆アイコン) をクリックして、各クラウドアカウントに必要な情報を入力します。

ユーザーテナントにはAWSの追加アカウントが必要ですが、Azureの場合は、Azureインフラテナントと同じサブスクリプションを使用できます。

- たとえば、AWSクラウドサイトの編集ボタンをクリックした後、**[AWSアカウント設定 (AWS Account Setting)]** エリアで、**[アクセスタイプ (Access Type)]** で**[信頼 (Trusted)]** をクリックし、関連するAWSアカウント識別子をそのフィールドに入力します。

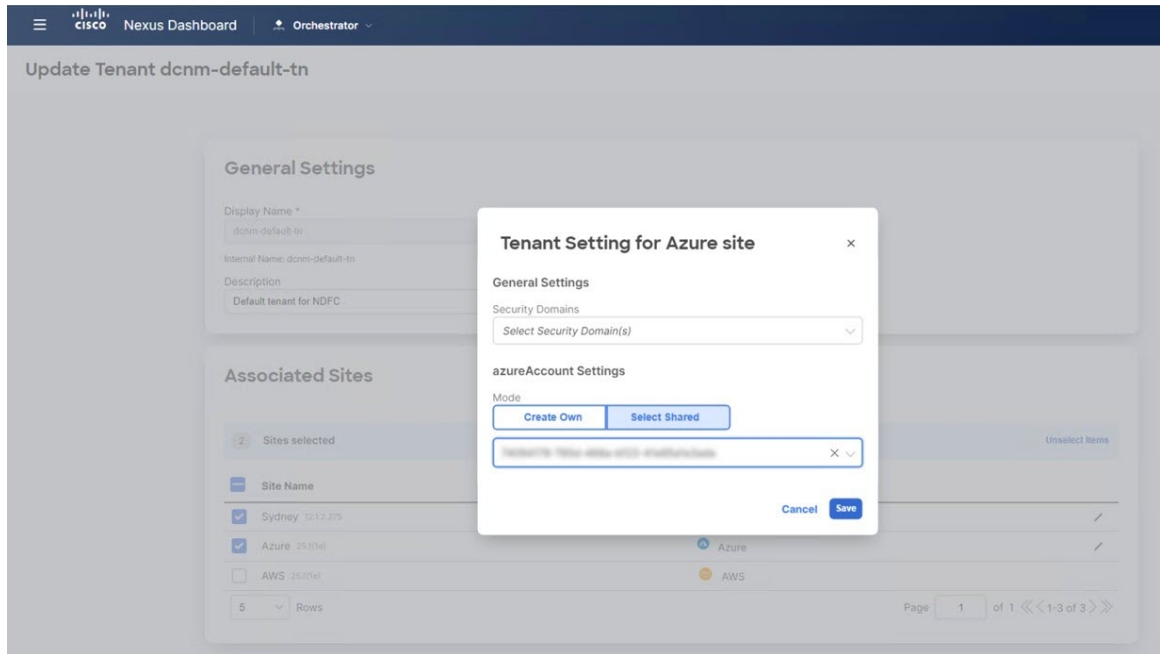
図 5:



AWSのテナントのさまざまなアクセスタイプの詳細については、[\[AWSインストールガイドのCiscoクラウドネットワークコントローラ \(Cisco Cloud Network Controller for AWS Installation Guide\)\]](#)、リリース25.1(1)以降の「Setting Up the AWS Account for the User Tenant」セクションを参照してください。

- 同様に、Azureクラウドサイトの編集ボタンをクリックした後、テナントが管理されているかどうかに応じて、必要な情報を入力します。

図 6:

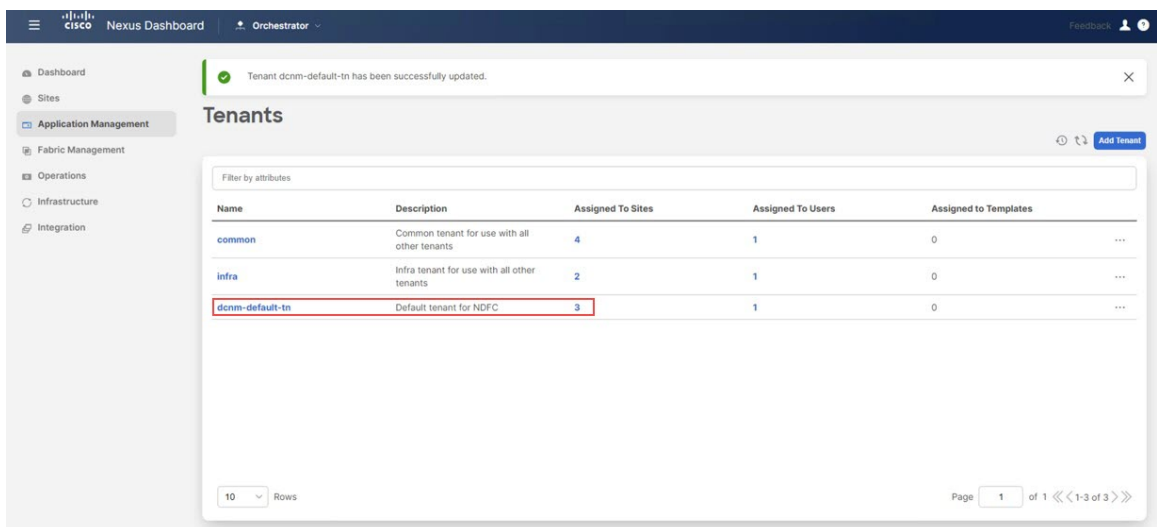


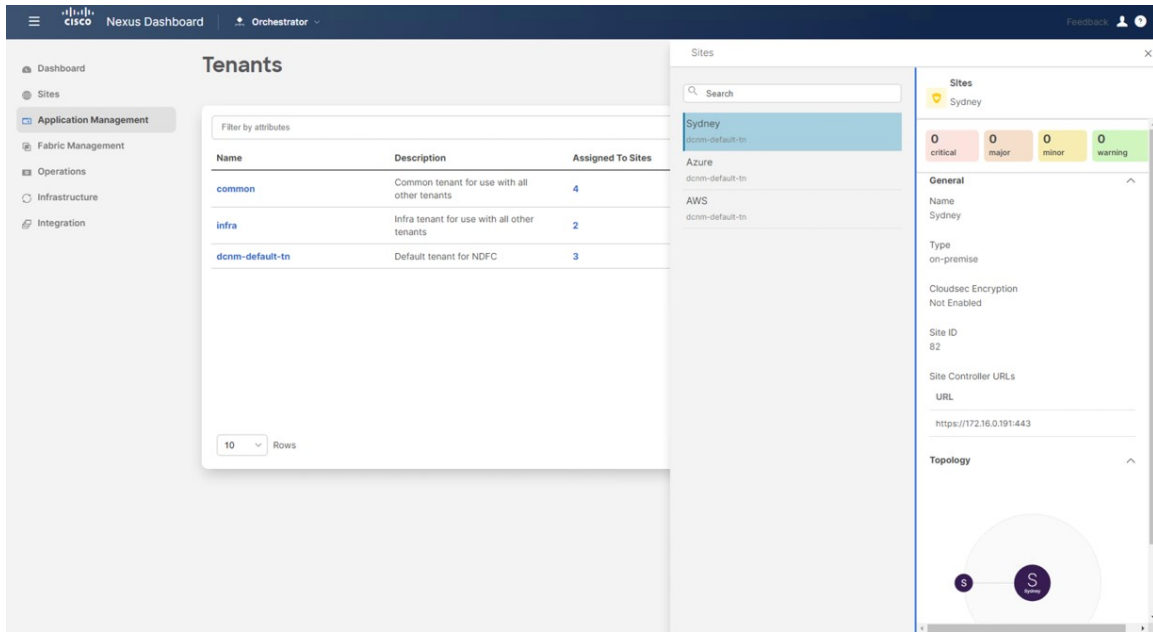
Azureのテナントのさまざまなアクセスタイプの詳細については、[\[Azure インストールガイドのCisco クラウドネットワーク コントローラ \(Cisco Cloud Network Controller for Azure Installation Guide\)\]](#)、リリース 25.1 (1) 以降の「Adding a Role Assignment」セクションを参照してください。

**ステップ 5** テナントが正しく展開されたことを確認します。

たとえば、次の図では、`dcnm-default-tn` テナントには3つのサイトがマップされています (1つのオンプレミス NDFC サイトと2つのクラウドサイト)。

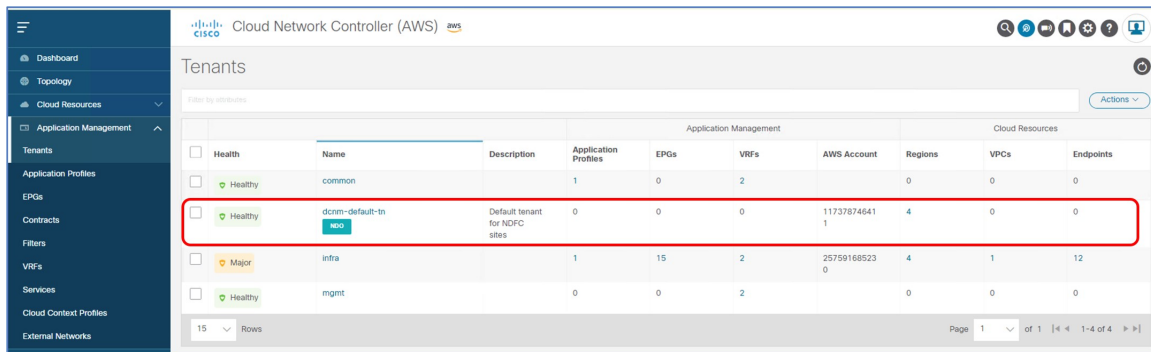
図 7:





クラウドサイトの Cisco Cloud Network Controller に展開された dcnm-default-tn テナントを確認することもできます。

図 8:



Tenants									
Filter by attributes									
Actions									
Application Management									
Cloud Resources									
Health	Name	Description	Application Profiles	EPGs	VRFs	Azure Subscription	Regions	Virtual Networks	Endpoints
<input type="checkbox"/>	common		1	0	2		0	0	0
<input type="checkbox"/>	dcm-default-tn	Default tenant for NDFC sites	0	0	0	Shared from infra	0	0	0
<input type="checkbox"/>	infra		1	12	2	74094178-785d-468a-bf23-41e85a1a3a da	1	1	7
<input type="checkbox"/>	mgmt		0	0	2		0	0	0

## 次のタスク

次の使用例のいずれかまたは両方を構成します。

- ストレッチされた VRF ユース ケース
- ルート リークの使用例





## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。